

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	第2さくら			
○保護者評価実施期間	R7年 12月 4日 ~ R7年 12月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 16日 ~ R8年 1月 22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 27日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チームで連携した支援体制が行われている。 ※より強化・充実を図ることが期待されること	業務分担や日常的なミーティングを通して職員間の状況を把握し、負担が偏ることなくワンチームで支援にあたっている。	多様な就労形態に対しても安心して業務に取り組める仕組みづくり、環境を整えておく。
2	保護者や学校など関係機関との連携。	連絡帳や送迎時の申し送り、LINEの利用など保護者協力のもと利用児の心身状況や支援状況など情報発信を積極的に行うことで、学校も含めた連携と情報共有が行えている。	今後は保護者が参加しやすい仕組みを充実させ、学校や関係機関との役割分担や情報の統一など連携をさらに深めていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備	職員は定数確保しているが、定着するまでに時間を要する。利用者に対しての責任、保護者や同僚との関係性などに対してのプレッシャー。	業務分担、ICT化など現場への負担軽減や、社内外研修や定期的な面接など人間関係の良好さを維持・向上を意識した「働きやすい」職場作り。 事業所単体ではなく、ニーズの変化や制度の変更に対しての対策も必要。
2	放課後児童クラブや育成など地域の子どもとの交流の機会を提供する	併用児童はいるものの放課後児童クラブや育成などと連携が取れていない。事業所利用児や保護者への配慮も必要。	長期休暇を利用して活動の企画及び実践につなげられるよう余裕を持った準備に取り組んでいく。 利用児や保護者への配慮を一番に考える。
3			

第2さくら 令和7年度 放課後等デイサービス評価表 集計結果報告

配布数18件/回収数10件/回収率55.6%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	寄せられたご意見
環境体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配置が適切になされているか	7	3		
①～③		環境体制整備について 「事業所の設備において、スロープや手すりの設置などバリアフリー化が適切に行われているか」については、「はい」が70%という結果でした。事業所内の主要な部分はバリアフリー化されていますが、入口に階段や段差があるため、完全な改善が難しい状況があります。今後も、現状の環境の中で可能な限り安全に配慮しながら支援を行うとともに、保護者の皆さんにもその取り組みを丁寧にお伝えしていくたいと考えています。				
適切な整備の環境	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子供と活動する機会があるか	3	6	1	・土日が休みなのでなかなか難しいと思うが長期休みなどをを利用して交流する機会が持てたらいいと思う。 ・学校では定期的に障がいのない子供たちとの交流があっており、その様子を見るとても楽しそうなので、放デイでもそのような機会があるといいです。
④～⑥		適切な整備の環境について 交流の機会については、「はい」が30%にとどまり、多くの保護者の方がより多くの交流を望んでいることが分かりました。土日休業などの運営上の制約から、日常的な交流の実施は難しい面がありますが、保護者の皆さまの声を受け止め、可能な範囲で取り組みを進めていきたいと考えています。				
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10			
	⑧	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるか	10			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に対する助言等の支援が行われているか	10			
	⑩	父母の会に活動の支援や、保護者会の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	9	1		・月1回保護者会があり、テーマが決まつていれば専門の方を招いて話しを聞いたり出来るといいなと思います
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	10			
	保護者への説明等について 保護者支援に関する項目では肯定的な回答をいただきました。日常的なコミュニケーションや相談体制が保護者の皆さんに安心感を与えることがうかがえます。また、保護者会を通じた保護者同士の連携についても概ね高い評価をいただきました。「月1回の保護者会で、テーマが決まつていれば専門家を招いて話を聞けると良い」というご意見も寄せられており、今後の運営の参考にしていきたいと考えています。引き続き、個人情報の取り扱いなどにも細心の注意を払い、安心して利用いただける環境づくりを進めてまいります。					

非常時対応	⑯	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に向けて発信しているか	10			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他に必要な訓練が行われているか	10			
⑯～⑯	非常時対応	について 今後も、子どもたちの安全を最優先に、マニュアルの見直しや訓練内容の充実を継続し、非常時対応に備えてまいります。				
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	10			
	⑯	事業所の支援に満足しているか	10			
⑯～⑯	満足度	について 今後も、子どもたちが安心して楽しく過ごせる環境づくりと、保護者の皆さんに信頼していただける支援の提供に努めてまいります。				
その他のご意見				・子どものことをよく見てください家庭では気づきにくい特性などによく気づいて支援してくださるのでとても頼りにしています		

この度は、アンケートへのご協力をいただき、誠にありがとうございました。

保護者の皆さんから寄せられたご意見や評価は、日々の支援を振り返り、より良い環境づくりを進めていくうえで大変貴重なものです。今回いただいた温かいお言葉や改善に向けたご提案を真摯に受け止め、子どもたちが安心して楽しく過ごせる場づくり、そして保護者の皆さまがより信頼して利用できる支援の提供に努めてまいります。

今後とも、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第2さくら

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	第2さくら			△わからない	公表日	R8年 2月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	△1	学習室は机を壁に向け配置し視覚的な情報が少ないように配慮している。 ネームプレートやホワイトボードで利用時にスケジュールを伝えている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日掃除している。 おやつ前にはテーブルを拭いている。 マットスペースでゆっくり座れるようにしている。 営業終了後に清掃を兼ねて安全点検を行い、安全で気持ちよく過ごせるように配慮。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	△1	学習室、トイレ、静養室、相談室を必要性や状況に合わせて使用している。 個室が設けられており学習や個別の活動が可能である。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		朝のミーティングや追加ミーティングにて共有している。 午前中に前日の振り返りを行い改善点や支援の方向性について話し合っている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			WEB回答など取り入れ保護者からの意向の出しやすさにつなげたい。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝のミーティングや追加ミーティング、その他打ち合わせにて意見を出し合っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5			

	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		情報があるときには共有し、必要性や希望に応じて参加している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		日々の活動やそのほかの計画表が毎月制作され、計画通りに支援が行われている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	△1		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		様々な分野の活動になるよう曜日や利用時をもとに検討している。同じ内容でステップを発展させて言うこともある。 前月の活動プログラムを把握したうえで様々な活動内容を提供でき津ようしている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		翌日の朝ミーティングで行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		子どもたちの言動や状況に応じていくつかの提案をすることで支援者側の押し付けではなく選択できるように工夫している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時に先生と情報共有している。トラブル等も必要に応じてTELなどで調整を図っている。 学校でのけがや体調不良等その経緯を相互理解し保護者に伝達できるよう情報共有されている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		利用開始時に共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	△1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	△1	職員間の意見だけでは対応が難しいと感じた児童について共有しアドバイスや連携を依頼したことがある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	△1	公園等であった際に交流があることもある。 長期休暇の際、地域の子どもたちとかかわる場合あり。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1 △2		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や送迎のタイミングを活用し日頃の様子や気になっていることを共有するようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		研修の情報提供を行うことがある。保護者会を年1回実施している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時や更新時に行っている。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		必ず確認している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		年1回保護者会を実施した。 保護者会を開催。	兄弟同士での交流の機会はまだ設けられていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情受付の仕組みを作り窓口を設置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		月1回のさくら通信の発行、3か月に1回ほどのペースでのブログでの発信を行っている。 通信を通して日々行動や活動内容を発信されている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		バースデーカード等、個人に渡すものは本人のみ映っているものにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		写真や文字のプリントを渡すなどわかりやすいように配慮している。 連絡帳を活用して保護者との意思疎通を常に図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		毎年マルシェを法人にて行っている。 マルシェにて地域住民の方々との関わりあり。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			マニュアルの確認を年に1回したほうがいいと思う。
非	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		指示書は受け取っていないが保護者から情報提供を受けたものについては接食しないようにしている。	

常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	7			
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			